

保護者の皆様

一宮市教育委員会教育文化部
学校教育課長 春日井 一吉
一宮市立奥小学校
校長 高井 芳恵

緊急事態宣言下の新型コロナウイルス感染症への対応について（お願い）

小寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動に御理解、御協力いただきありがとうございます。

さて、愛知県に新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されました。一宮市においても、1日当たりの感染者数の多い日が続き、心配な状況です。感染経路が不明なものもありますが、12月3日文部科学省が発表した「学校の新しい生活様式 Ver.5」では、小中学生の感染者については、その7割が家庭内の感染とされています。

つきましては、感染拡大を抑えるために下記の点について、ご家庭での配慮、協力をお願いいたします。学校では、今後も感染リスクの高い教育活動の制限や教室の換気や手洗い・咳エチケットの徹底、マスクの着用など感染予防に取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

記

1 家庭における新型コロナウイルス感染症対策について

（１）毎日の健康観察はもちろんのこと、家族に発熱、咳などの症状のある場合には、子どもの登校を控えるようにしてください。

（２）食事中的会話での飛沫による感染リスクが非常に高いとされています。たとえ少人数であっても飛沫による感染リスクを軽減するための取組として、マスクを着けたままで食事をする新しいマナー「マスク会食」をお願いします。

【「マスク会食」でのマナー】

- ① 少人数・短時間で
- ② なるべく普段一緒にいる人と
- ③ 座る時は、お互いの正面や真横を避け、斜め向かいに
- ④ 飲食するときだけマスクを外し、会話の際にはマスクを着けて

（３）ウイルスに感染していても症状が出ない場合があります。知らないうちに感染を広めてしまうことがあります。

休日や20時以降における不要不急の外出、仲の良い友人同士の家庭間の行き来、家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大する可能性もあります。

右の「感染リスクが高まる『5つの場面』」を参考にした生活への協力をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲食を伴う懇親会等 ● 飲食の準備で気が散ると同時に注意力が低下する。また、密着が続き、大気汚染になりやすい。 ● 特に数人などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。 ● また、同じ飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。 	場面② 大人数や長時間におよぶ飲食 ● 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほろ酔い会では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。 ● 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。 	
場面③ マスクなしでの会話 ● マスクなしに近距離で会話をするなど、飛沫感染やマイク/飛沫感染での感染リスクが高まる。 ● マスクなしでの会話時としては、屋上・公園などでの事例が確認されている。 ● 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。 	場面④ 狭い空間での共同生活 ● 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。 ● 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。 	場面⑤ 居場所の切り替わり ● 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。 ● 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。 

「感染リスクが高まる『5つの場面』」と入力して検索（Web）

(4) 家庭内で「新型コロナウイルス感染症対策～『新しい生活様式』を踏まえた家庭での取組～」を参考に引き続きご協力をお願いします。

- ・ 毎日の健康観察
- ・ 手洗いの励行
- ・ 咳エチケットの徹底
- ・ 3密(密閉・密集・密接)の回避
- ・ 抵抗力を高める

※ほとんどのエアコンは室内の空気を循環しているだけなので、エアコン使用時も換気は必要です。

参考

保護者の皆様へ
新型コロナウイルス感染症対策
～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

- 1 毎日の健康観察
 - ・ 毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
 - ・ 発熱等の症状がある場合は、自宅での休養させる。
 - ・ 感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。
- 2 手洗いの励行
 - ・ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
 - ・ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）
- 3 咳エチケットの徹底
 - ・ 咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを覆って、口や鼻をおさえる。
- 4 3密の回避（密閉、密集、密接）
 - ・ 人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。
 - 「密閉」の回避
 - ・ 必要最小限の換気
 - ・ 気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。
 - 「密集」の回避
 - ・ 身体的距離の確保
 - ・ 飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。
 - 「密接」の回避
 - ・ マスクの着用
 - ・ 外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気遣いや湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。
- 5 抵抗力を高める
 - ・ 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。

★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士や家族間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に食生活の場には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考に工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。

作成：文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

「新しい生活様式を踏まえた家庭での取組」と入力して検索（Web）

(5) 新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。また、冬季においては、空気が乾燥し、飛沫が飛びやすくなることや、季節性インフルエンザが流行する時期でもあることから、感染症対策を一層心掛けてください。

※飛沫感染：感染者のくしゃみ、咳などでウイルスが放出され、それを他者が口や鼻から吸い込んで感染する。

※接触感染：感染者がくしゃみや咳を手などで押さえた後、その手で触れた物に他者が触れ、そのまま口や鼻を触ることで粘膜から感染する。

(6) 以下の3点のような状況があった場合は、学校にご連絡ください。

同居のご家族に、

- ① 新型コロナウイルス感染が判明したとき
- ② 濃厚接触者となったとき
- ③ PCR検査の対象となったとき（体調不良によるものも含む）

平日・休日も含めて学校に連絡がつかない場合は、以下の窓口へご連絡をお願いいたします。

一宮市教育委員会 教育文化部 学校教育課

〈TEL 0586-85-7073〉

※学校教育課から、該当学校関係者へ連絡いたします

【問い合わせ先】教頭 小野 悟史
電話 0586—28—8720

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策

～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

1 毎日の健康観察

- ・毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
- ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
- ・感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。



2 手洗いの励行

- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）



3 咳エチケットの徹底

- ・咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。



4 3密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

○「密閉」の回避

・こまめな換気

気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。

○「密集」の回避

・身体的距離の確保

飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。

○「密接」の回避

・マスクの着用

外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。

室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。



5 抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。



★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。